



各賞受賞

「パラフィン系潜熱蓄熱材エコジュール」が 「2011年“超”モノづくり部品大賞」を受賞

当社の「パラフィン系潜熱蓄熱材エコジュール」が、「2011年“超”モノづくり部品大賞」に選出され、12月6日に受賞式が行われた。本賞は、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が共催、経済産業省、日本商工会議所が後援し、わが国のモノづくりの競争力の源泉で、縁の下の力持ちである部品・部材に焦点を当てた顕彰制度であり、今回で8回目となる。各分野から選出された29件の中で「エコジュール」が最高位の部品大賞に選出された。受賞式では、製品紹介のビデオ映像が上映されるなどその高い技術力をPRした。「エコジュール」はノルマルパラフィンの熱吸収・放出性能を利用した蓄熱材で、オフィスビル、住宅、車など多様な分野に導入することが可能であり、東日本大震災に被災した2011年、今後の社会での熱エネルギーの有効利用につながることで高く評価された。



(株)日刊工業新聞社 井水社長(左)と
表彰状を授与された松下副社長(右)

(提供：日刊工業新聞社)

『ココエコ』搭載マンションが 「グリーン購入大賞審査委員特別賞」を受賞

「グリーン購入大賞」はグリーン購入ネットワーク(GNP、1996年設立)が、環境に配慮した製品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」に関する先進事例を広く紹介することで、グリーン購入の質的向上とさらなる普及・拡大を目的として創設した表彰制度で、2011年度で第13回となる。

このたび、株式会社サンケイビル、東京ガス株式会社および当社の3社は、ENEOSマンション向け戸別太陽光発電システム『ココエコ』と電力の売買やガス消費量などをトータルで表示する給湯器リモコン(TESシステム)を初搭載したマンション「ルフォン井の頭公園」でグリーン購入大賞審査委員特別賞を共同受賞した。

「集合住宅での自然エネルギー利用(ココエコ)と節電が可能となり、高機能給湯器リモコンにより家庭のエネルギーの使用状況を“見える化”することで、大幅な省エネ効果が期待でき、暮らしの中のエネルギーのグリーン購入の機会創出につながる先進的な取り組みである」として評価された。

ルフォン井の頭公園(武蔵野市御殿山2丁目・4階建・33戸)は2011年7月に発売を開始したが、大好評のうちに完売となった。



表彰状を手にする荒木常務(左)とGNPの中原会長(右)



公益信託ENEOS水素基金 第6回助成金贈呈式を開催

本基金は、水素エネルギー供給に関連する独創的な基礎研究を継続的に助成することにより、水素を利用したエネルギーシステムを広く社会に普及させ、将来に亘って持続的に発展し続ける社会を創造することを目指している。年間総額 5000万円の研究助成を約 30年にわたり安定的に継続し、技術のブレイク・スルーを引き起こすことを目指している。第6回目となる今年度は、51件の応募から厳選な審査により5件のテーマが選考された。

2011年10月26日に開催された贈呈式ではJX 日鉱日石エネルギー（株）の木村社長より「基金の助成を最大限有効に活用して独創性・新規性に溢れる研究成果を生み出し、「水素エネルギー社会」の早期実現に貢献して欲しい」との激励の後、堂免一成運営委員長（東京大学工学系研究科教授）より、助成対象者への目録が贈呈された。

また、贈呈式に先立ち開催された前年度助成対象者6名による成果報告会では、活発な質疑応答が展開された。なお、本年は基金設立5周年を記念し、過去の助成対象者の中から、助成後も引き続き優れた研究成果を上げている3名の先生による記念講演を実施した。

（研究開発企画部 R&D企画グループ 立石 大作）

2011年度 研究テーマおよび助成対象者

研究部門	研究テーマおよび助成対象者
水素製造技術	「燃料電池の内部改質運転を可能にする抄紙技術を利用したバイオガス改質用傾斜機能触媒の開発」 白鳥 祐介（九州大学大学院工学研究院機械工学部門 准教授）
	「触媒の酸化を利用したアンモニア分解による水素製造反応のコールドスタートプロセスの構築」 永岡 勝俊（大分大学工学部応用化学科 准教授）
水素貯蔵・輸送媒体に関する技術	「高効率水電解にむけた四相界面反応場の制御による高性能ガス電極の創製」 松本 広重（九州大学稲盛フロンティア研究センター 教授）
	「多孔性配位高分子およびその複合体を用いた水素貯蔵材料の開発」 樋口 雅一（京都大学 物質-細胞統合システム拠点 特定助教）
CO ₂ 固定化技術	「CO ₂ 地中貯留のための岩石 / 地層水 / CO ₂ 相互作用に関連した収着、膨潤、ならびに浸透特性に関する基礎的研究」 須藤 祐子（東北大学大学院 環境科学研究科 助教）

5周年記念講演者

2006年度助成対象者（第1回）	生越 専介（大阪大学大学院工学研究科 教授）
2007年度助成対象者（第2回）	野呂 真一郎（北海道大学電子科学研究所 准教授）
2008年度助成対象者（第3回）	工藤 昭彦（東京理科大学理学部応用科学科 教授）



2010年度、2011年度助成対象者、5周年記念講演者及びENEOS水素基金関係者